

「おやこで花マル！プロジェクト」調査事業 集計結果

平成25年1月
奈良県立教育研究所

調査の目的

家庭内でのコミュニケーションをより豊かにするためのきっかけづくりとして「おやこで花マル！プロジェクト」を実施することで、家庭における親と子の関わり方に対する意識への影響について調査し、今後の家庭の教育力の向上に役立てる。

調査の内容

小学1年生とその保護者が、親子で一緒に取り組めること(以下、「おやこで花マル！プロジェクト」という。)を、夏期休業期間を中心にして各家庭で実施し、その効果を検証するため、夏期休業前と夏期休業後に、保護者を対象としたアンケート調査を実施する。

調査の概要

1 調査実施対象 県内小学校17校の小学1年生の保護者(1,074人)

○ 実施校一覧

市 町 村	学 校 名	市 町 村	学 校 名
奈良市	済美南小学校	葛城市	新庄小学校
天理市	丹波市小学校	宇陀市	室生東小学校
天理市	山の辺小学校	川西町	川西小学校
橿原市	真菅小学校	広陵町	広陵西小学校
橿原市	真菅北小学校	広陵町	広陵北小学校
桜井市	桜井小学校	広陵町	真美ヶ丘第二小学校
桜井市	桜井南小学校	下市町	下市小学校
生駒市	生駒南小学校		
生駒市	生駒北小学校		
生駒市	俵口小学校		

2 調査実施時期

事前アンケート
事後アンケート

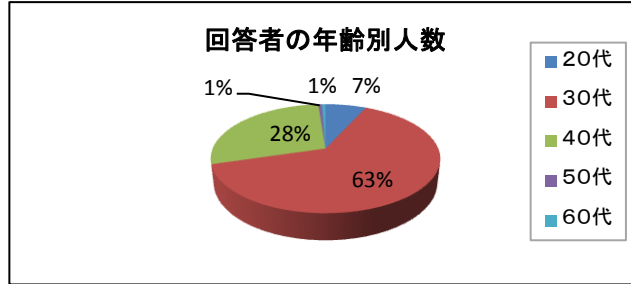
平成24年7月
平成24年9月

「おやこで花マル！プロジェクト」事前アンケート調査 集計結果

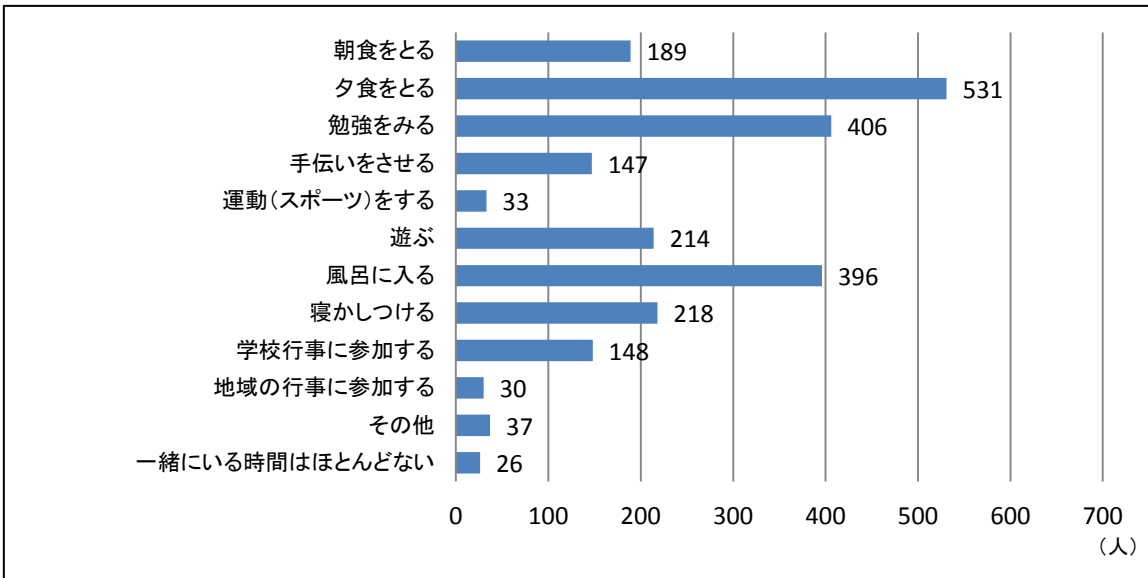
回答者性別内訳

性別	人数(%)
男性	122(14.9)
女性	697(85.0)
不明	1(0.1)
計	820(100)

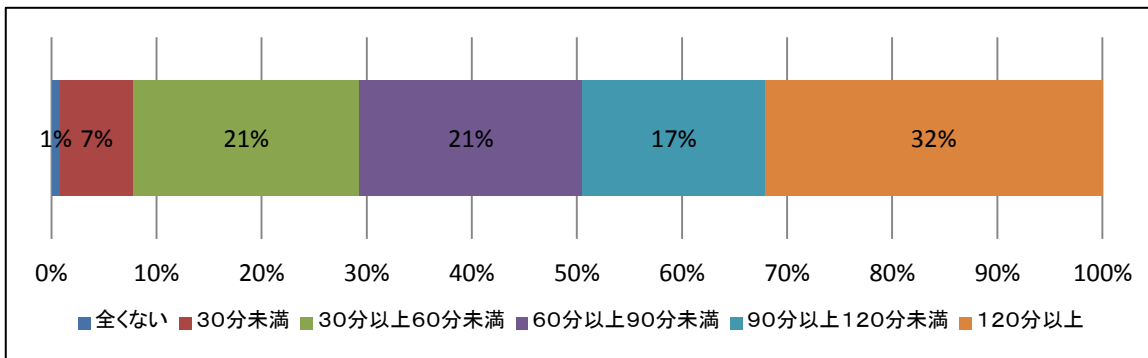
(回収率76.4%)



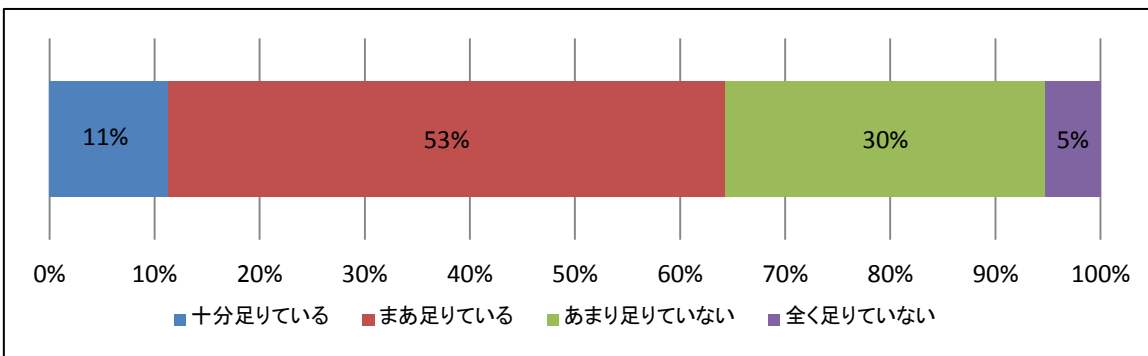
① 普段(仕事がある日)、コミュニケーションをとるために、意識的に子どもと一緒にしようと思われれるのは、どのようなことですか。(3つまでの複数回答)



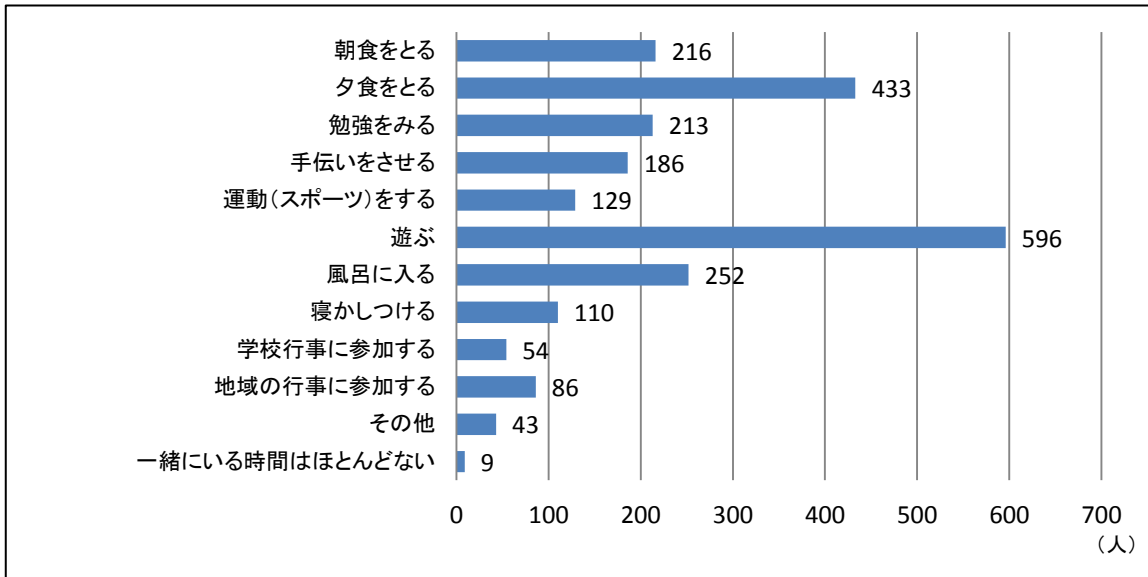
② 普段、子どもと向き合っている時間はどのくらいですか。



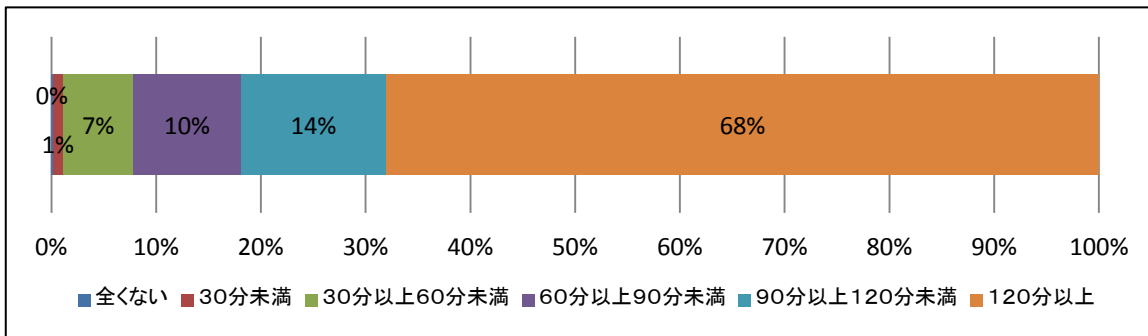
③ 普段、子どもとのコミュニケーションは足りていると思いますか。



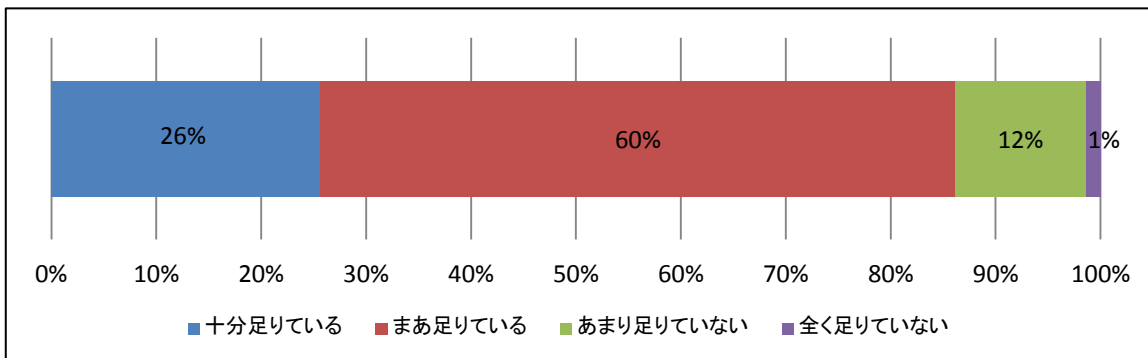
④ 休みの日(仕事がない日)、コミュニケーションをとるために、意識的に子どもと一緒にしようと思われるのは、どのようなことですか。(3つまでの複数回答)



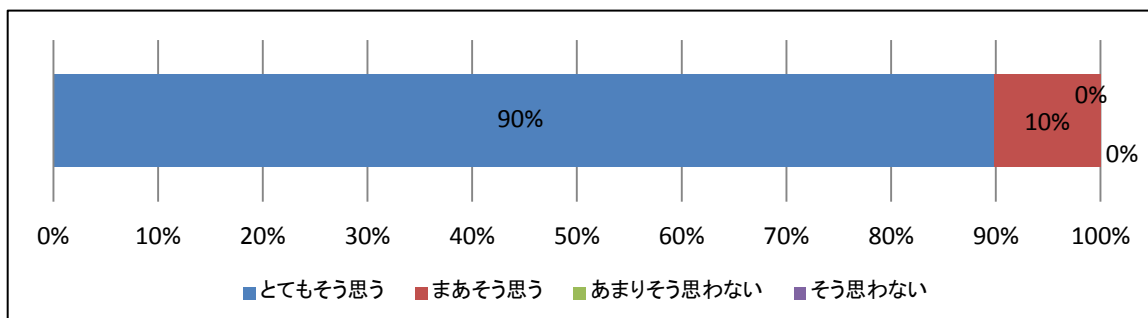
⑤ 休みの日、子どもと向き合っている時間はどのくらいですか。



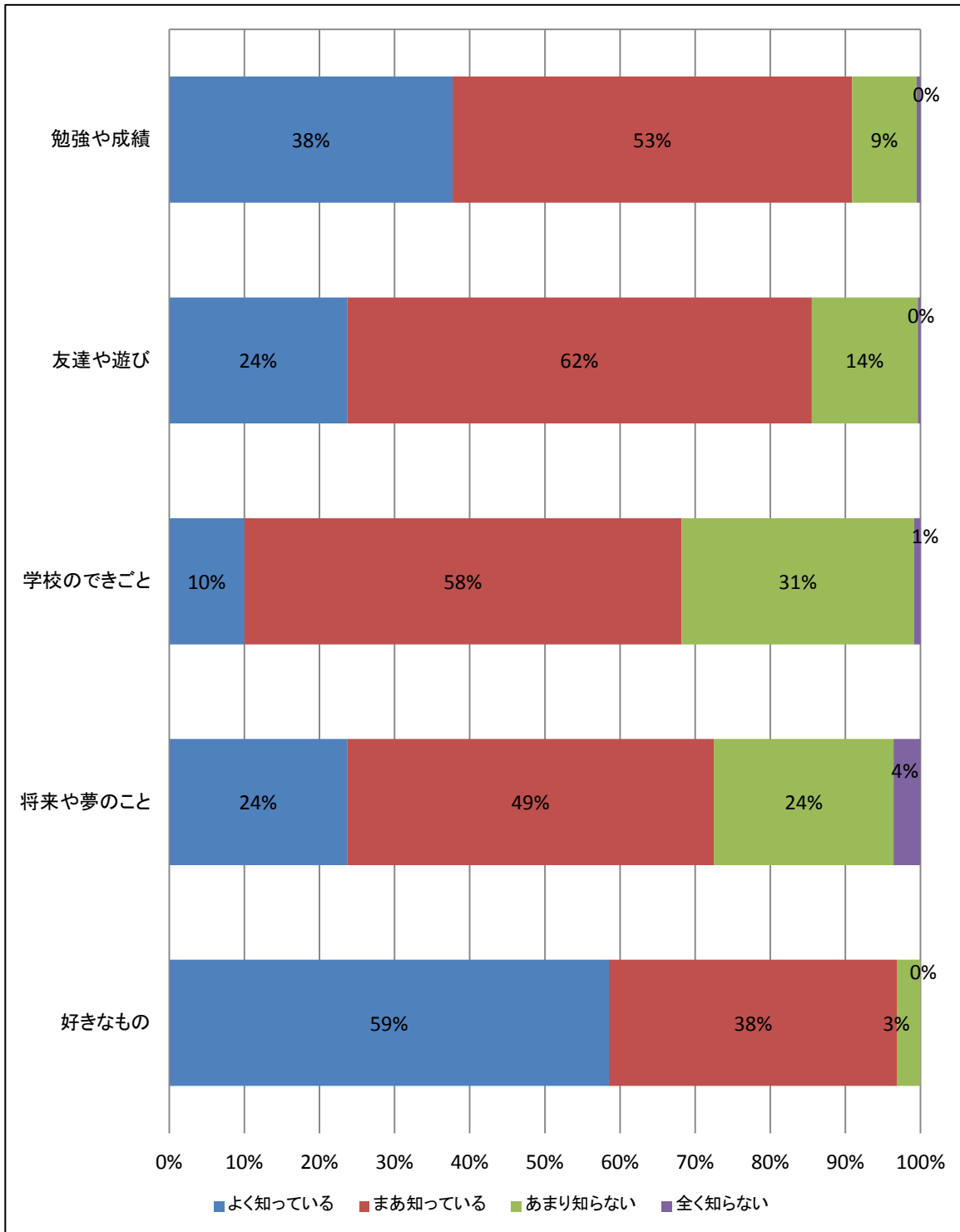
⑥ 休みの日、子どもとのコミュニケーションは足りていると思いますか。



⑦ 子どもとコミュニケーションをとることは大切なことだと思いますか。



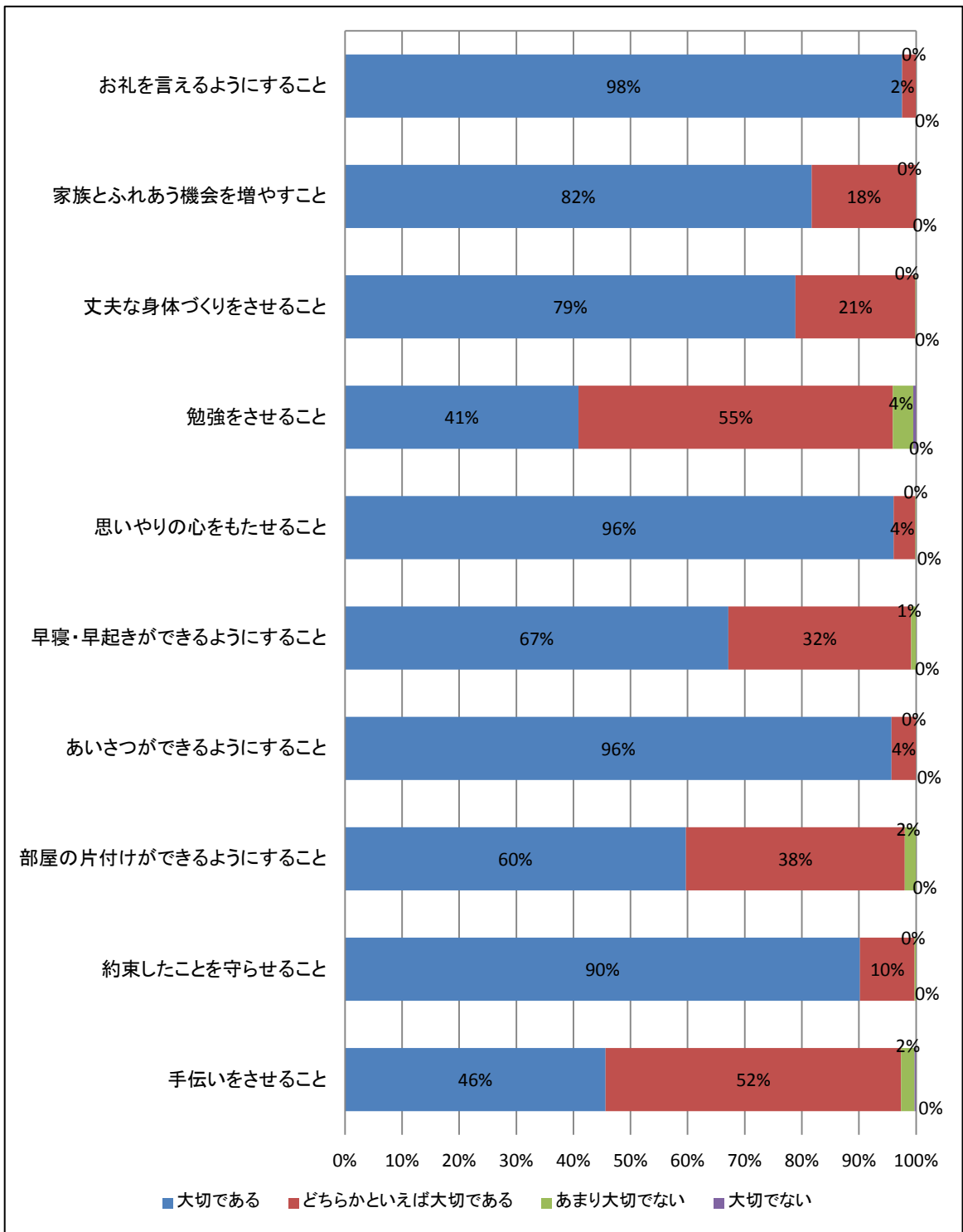
⑧ 子どものことをどれだけ知っていますか。



【その他】

- 長所・短所
- 好きなテレビ番組や遊び

⑨ 子育てにおいて大切にしようと思われているのは、どのようなことですか。



【その他】

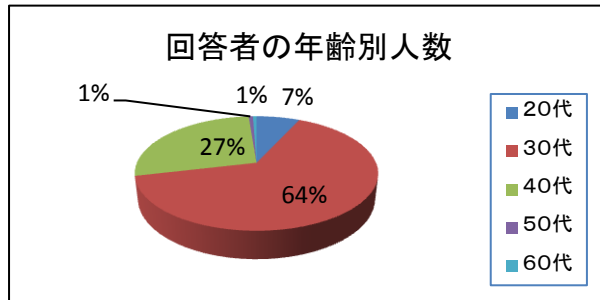
- 様々な人とふれあわせること
- 友達とコミュニケーションがとれるようにすること
- 自分で考え行動できるようにすること
- 自分の考えを伝えられるようにすること
- いろいろな経験をさせること
- お年寄りを大切にすること
- 素直に謝る気持ちをもたせること
- 美しいと感じる心をもたせること
- 根気をつけること
- 返事ができるようにすること
- 嘘をつかないようにすること

「おやこで花マル！プロジェクト」事後アンケート調査 集計結果

回答者性別内訳

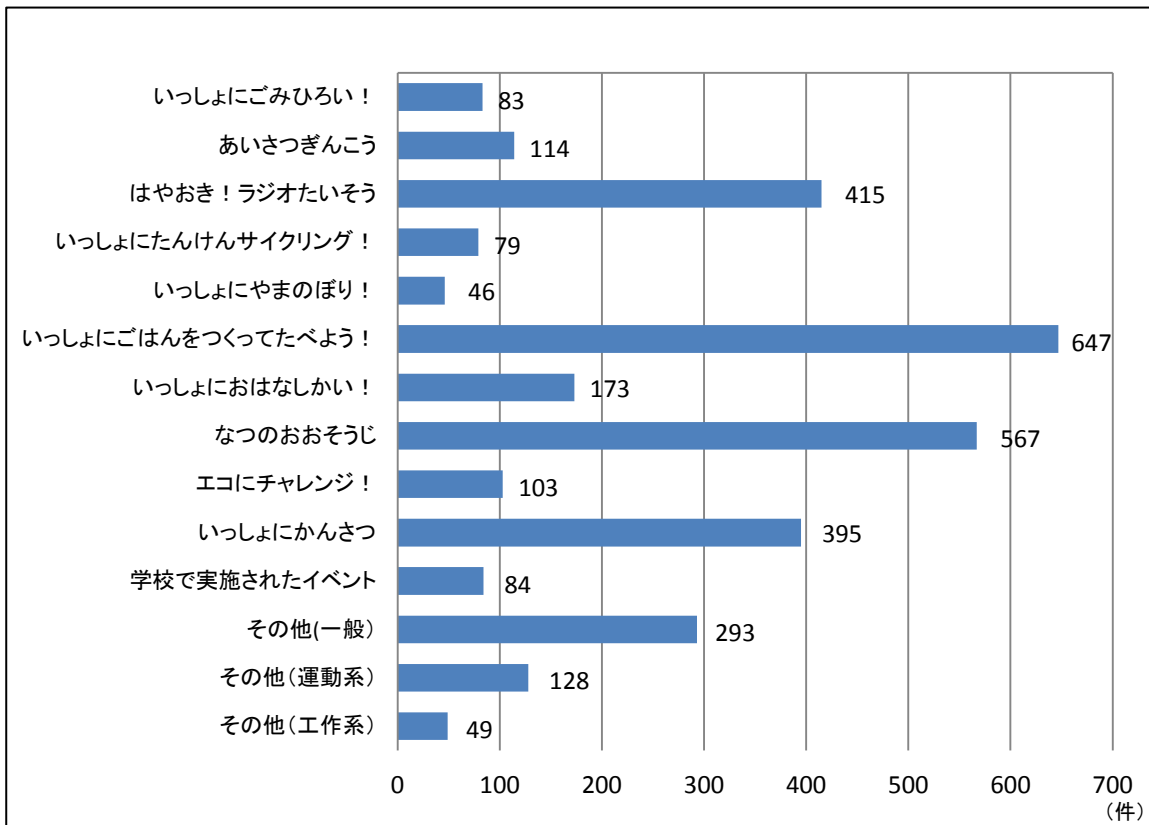
性別	人数(%)
男性	51(5.6)
女性	836(91.8)
不明	24(2.6)
計	911(100)

(回収率84.8%)



I 「おやこで花マル！プロジェクト」について

1 子どもと一緒に、どのような内容に取り組みましたか。(複数回答可)



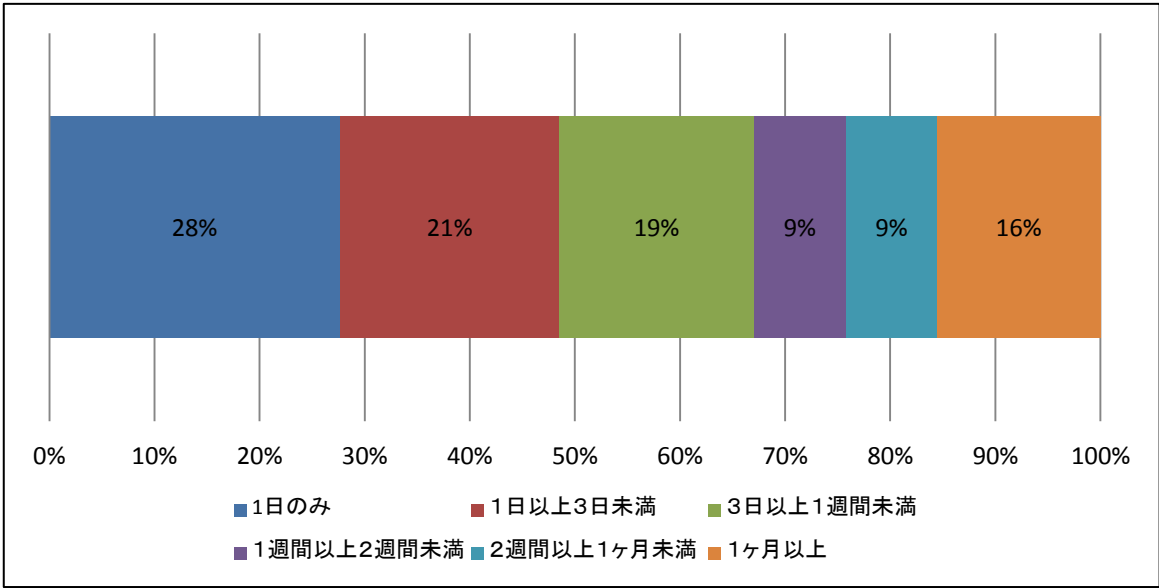
【その他】

(全取組件数3204)

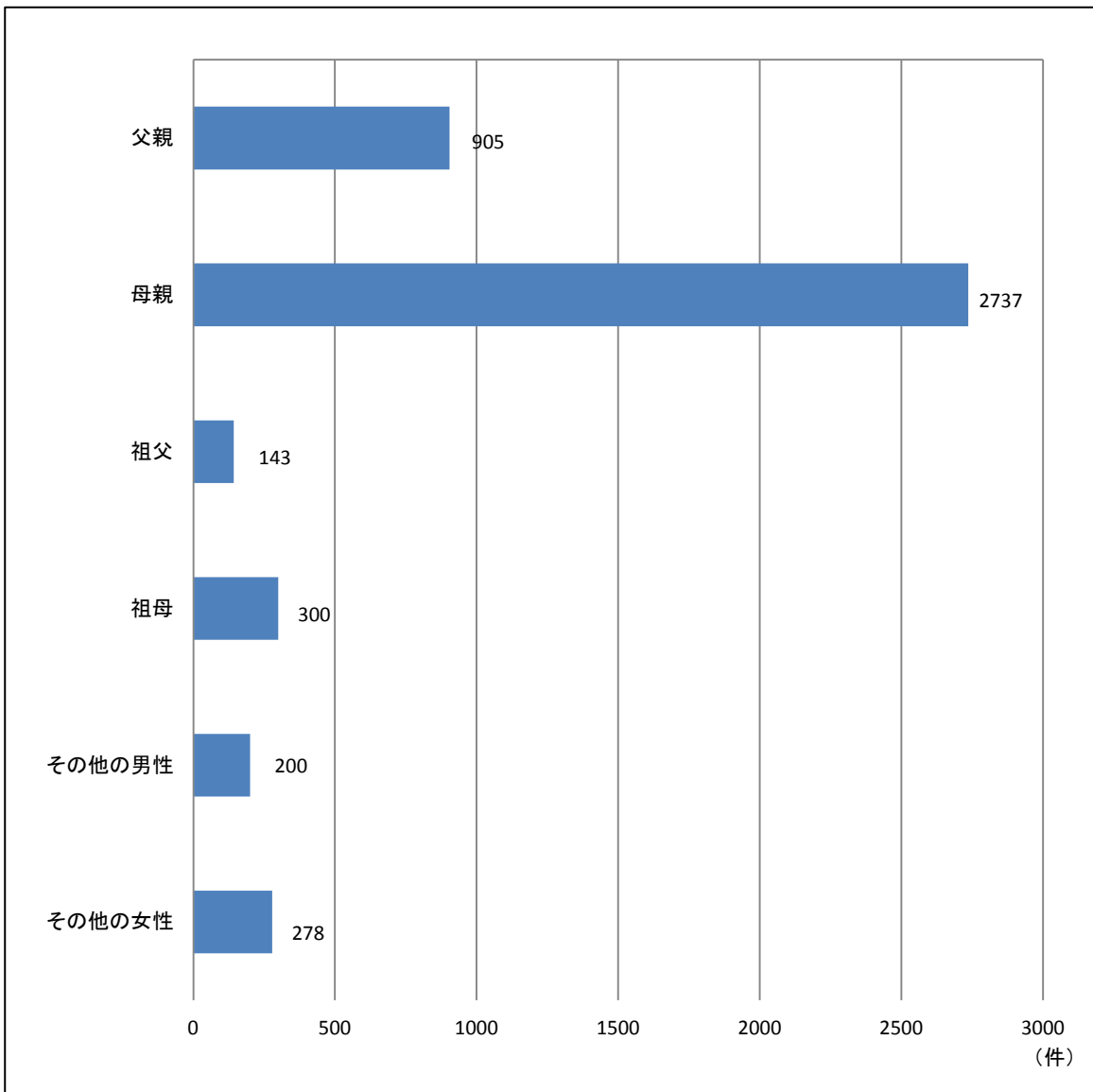
- (一般)
 - 車洗い
 - 一緒にせみとり
 - 一緒にお風呂で背中流し
 - 兄弟の世話
 - 一緒にお洗濯
 - お墓参り
- (運動系)
 - なわとびにチャレンジ
 - 魚釣り
 - 一緒にスイミング
 - 夜のウォーキング
 - キャンプに行こう
- (工作系)
 - 絵本づくり
 - 貯金箱づくり
 - 陶芸
 - 割り箸鉄砲づくり
 - 折り紙で動物園をつくろう

他

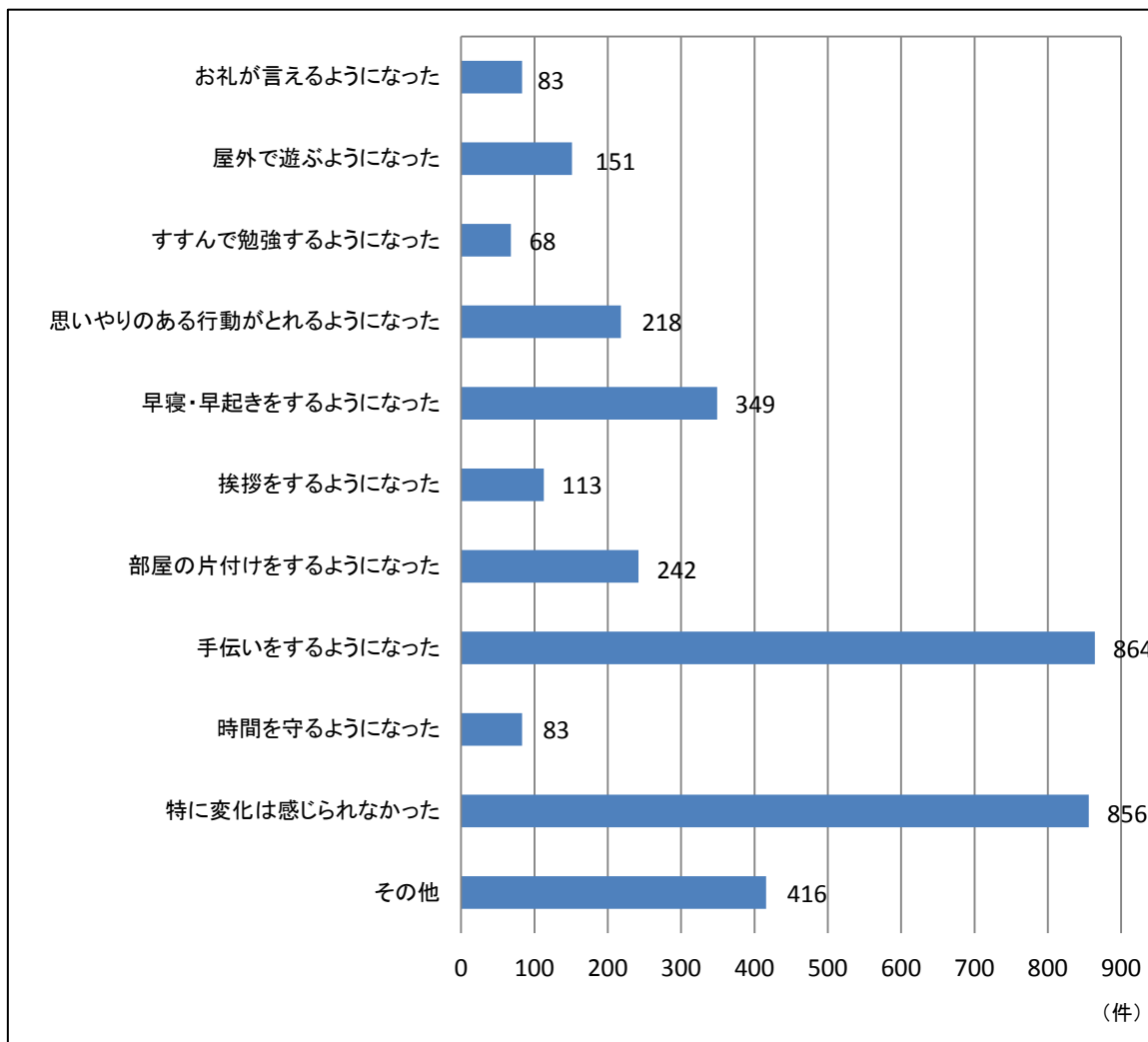
2 1の取組について、子どもと一緒に、どのくらいの期間取り組みましたか。



3 1の取組について、子どもと一緒に、誰が取り組みましたか。(複数回答可)



4 1の取組に取り組んで、子どもにどのような様子が見られるようになりましたか。(複数回答可)



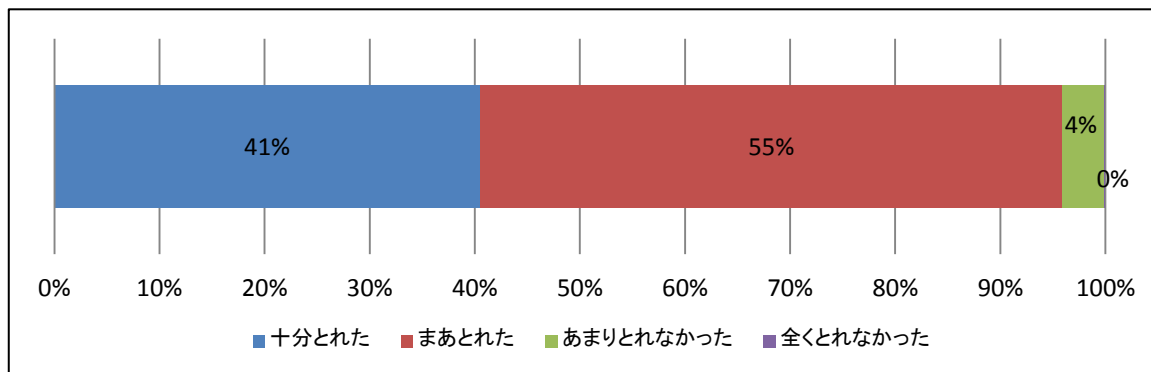
【その他】

- 自分のことは自分でできるようになった
- やってみようという積極性ができた
- 最後までやり遂げるようになった
- 体力がついてきた
- 苦手なものが食べられるようになった
- 人の話が聞けるようになった
- じっくり本を読めるようになった
- 節電を意識するようになった
- 生き物や植物にやさしくなった
- 約束をまもるようになった
- いろいろなことに興味をもつようになった
- 家族の大切さがわかった
- 粘り強さや我慢強さが身についた
- ものづくりの楽しさを実感していた
- 自転車に乗れるようになった
- あいさつができるようになった
- 父親とコミュニケーションがとれるようになった
- 料理に興味をもつようになった
- すすんでお手伝いをするようになった
- 会話が増えた
- 星や月に興味をもつようになった
- 何事も真剣に取り組むようになった
- 責任をもって自分の仕事ができるようになった

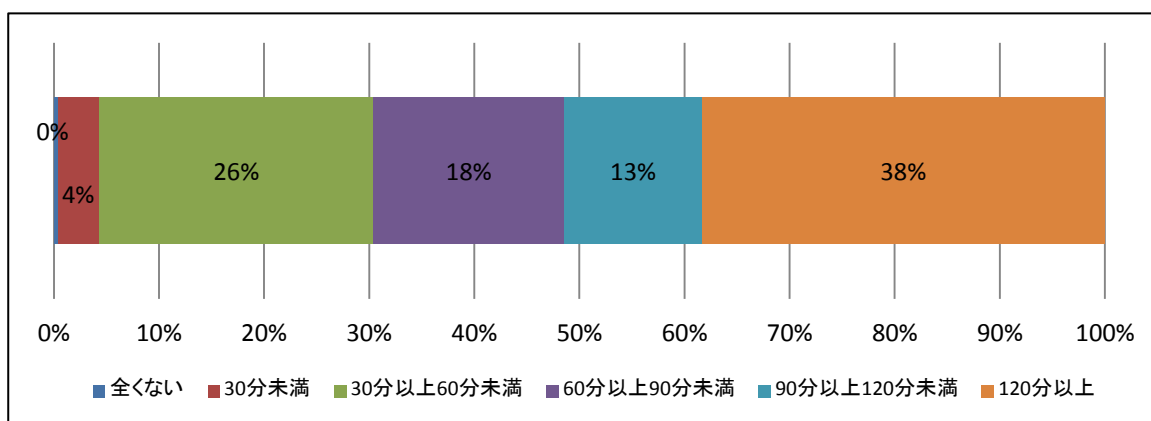
他

II 子どもとの関わりについて

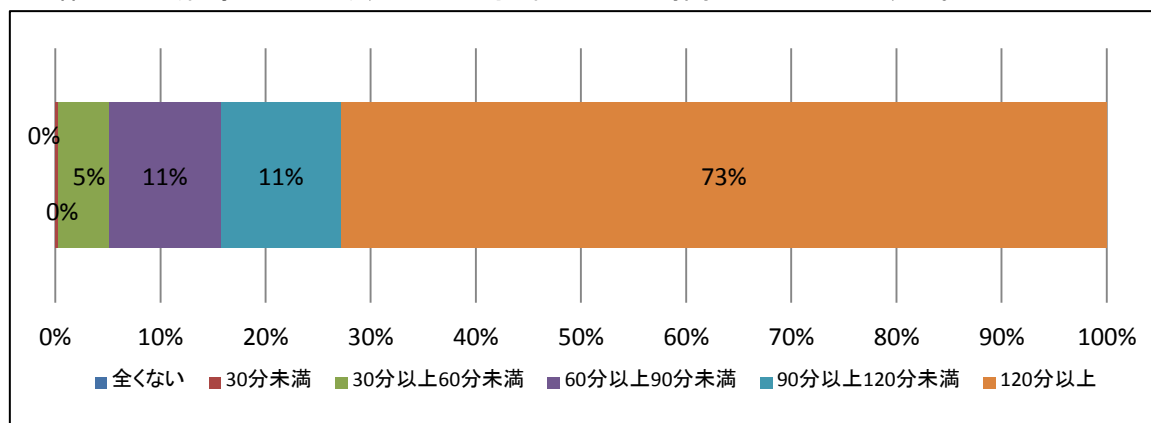
1 実施期間中、子どもとのコミュニケーションはとれましたか。



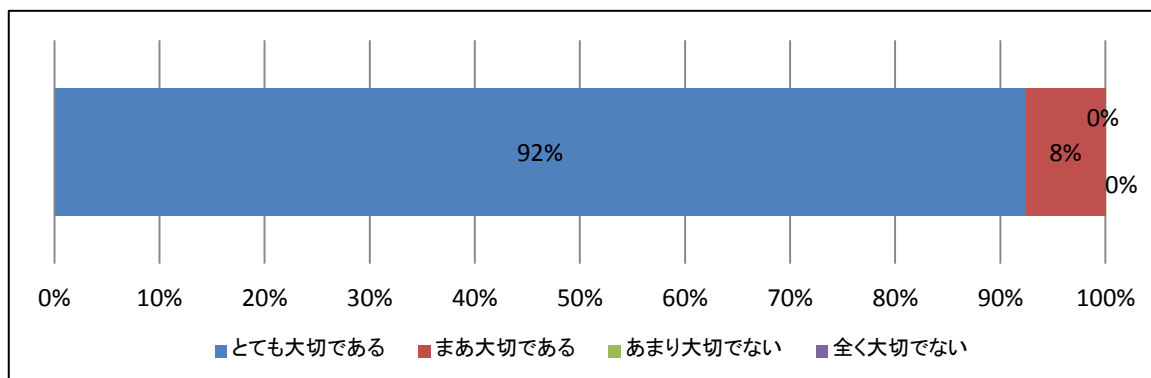
2 普段(仕事がある日)、子どもと向き合っている時間はどのくらいですか。



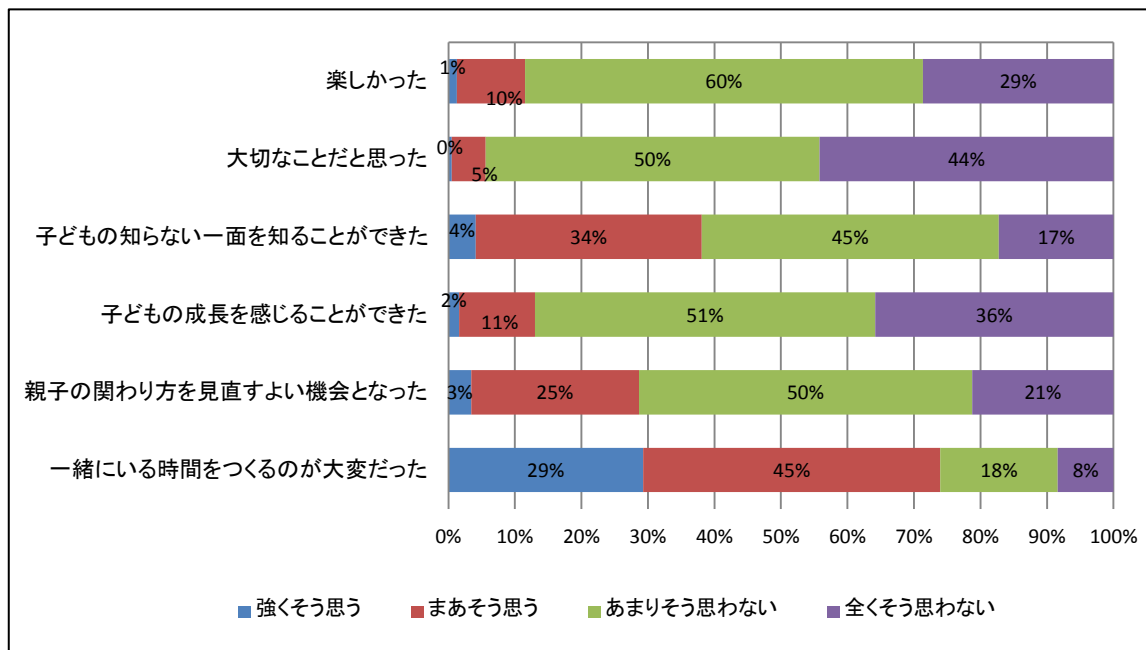
3 休みの日(仕事がない日)、子どもと向き合っている時間はどのくらいですか。



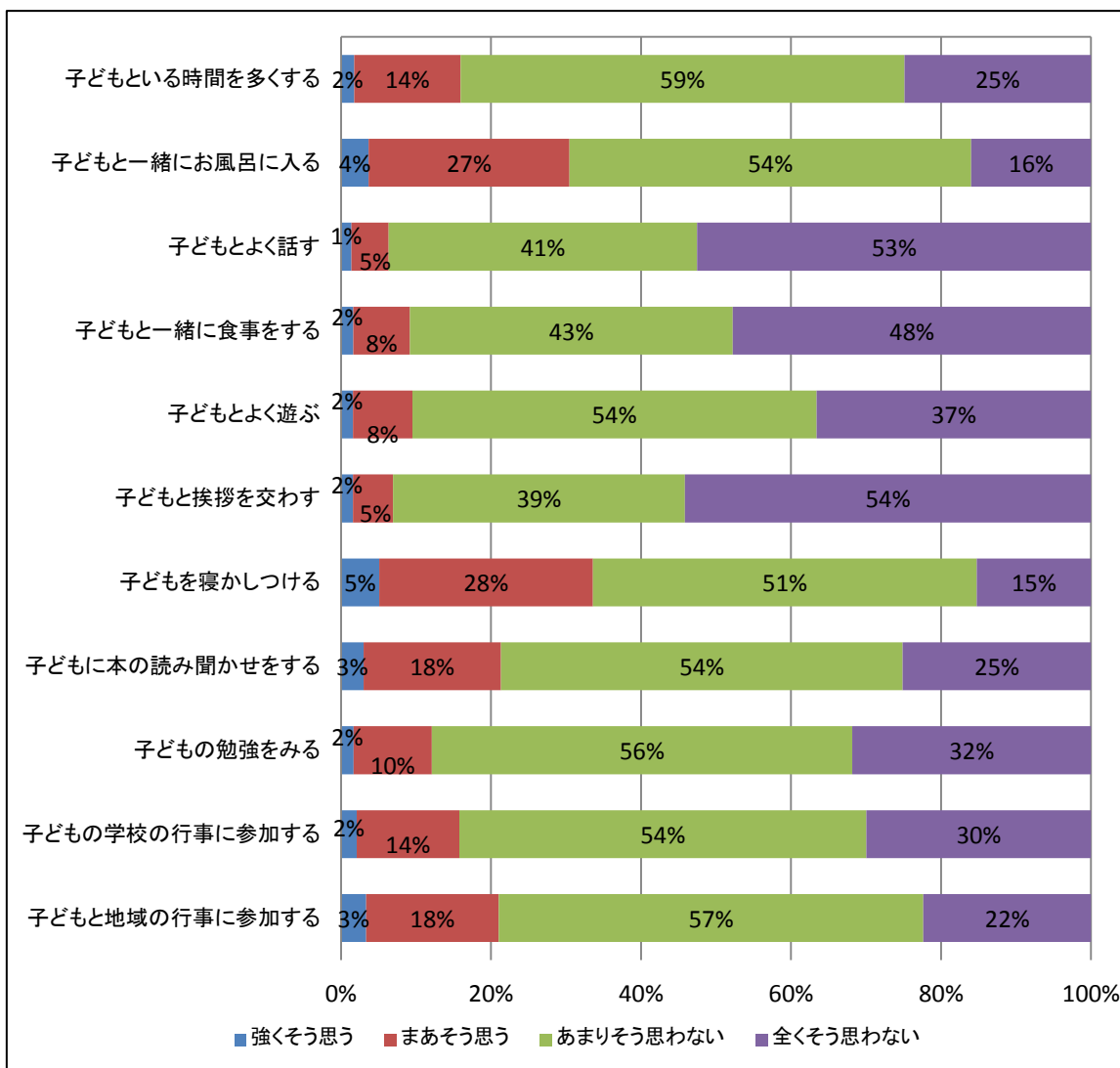
4 子どもとコミュニケーションをとることは大切なことだと思いますか。



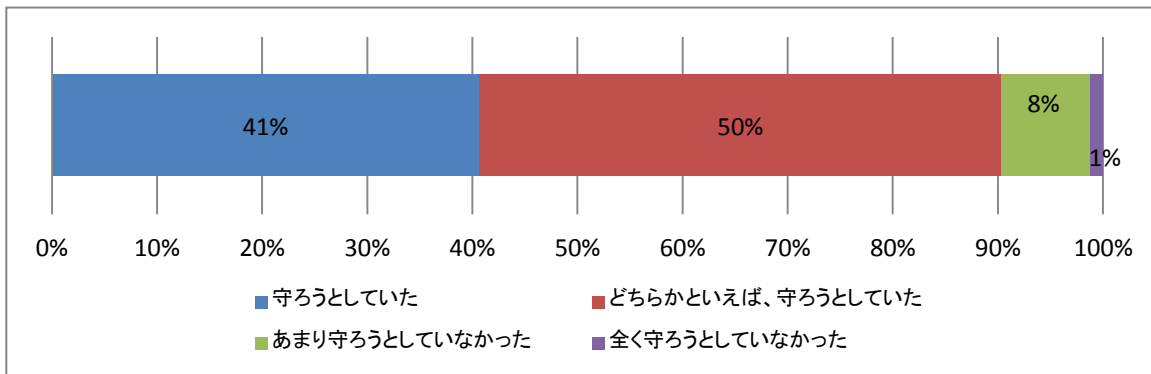
5 「おやこで花マル！プロジェクト」に取り組んで、どのように感じましたか。



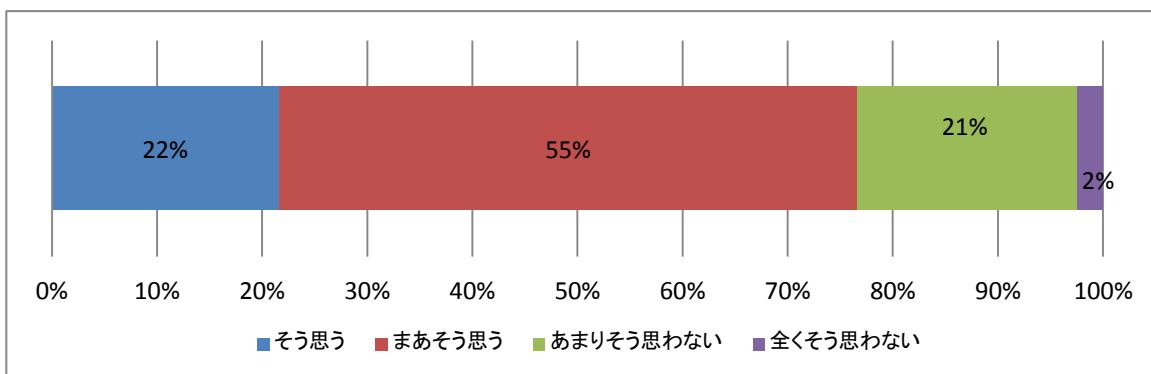
6 「おやこで花マル！プロジェクト」に取り組んで、以前と比べて、あなたはどのようなことに力を入れようと感じましたか。



7 子どもは、「わがやのおやくそく」を守ろうとしていましたか。



8 「おやこで花マル！プロジェクト」に取り組んで、子どもは、約束を守ろうとするようになったと思いますか。



「おやこで花マル！プロジェクト」調査事業のまとめ

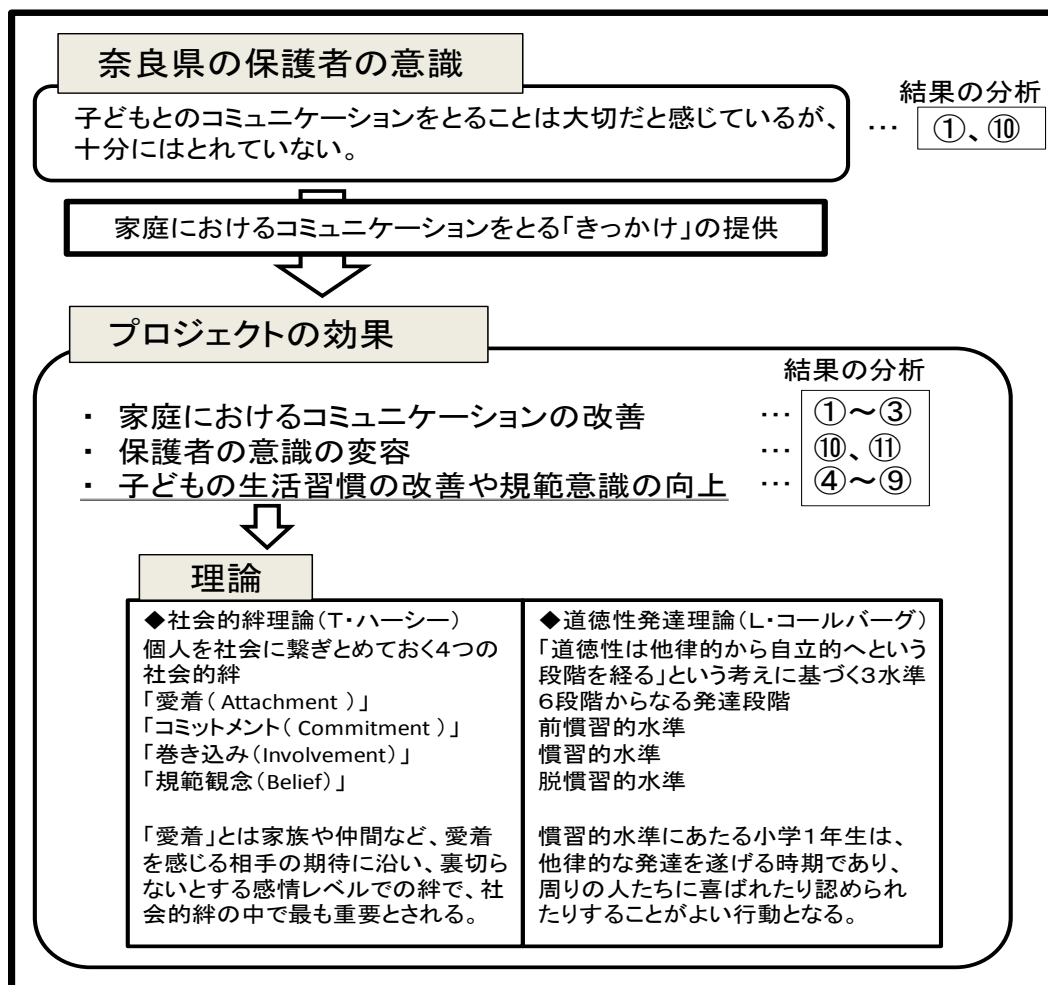
奈良県立教育研究所

調査の概要

調査の目的： 家庭内でのコミュニケーションをより豊かにするためのきっかけづくりとして「おやこで花マル！プロジェクト」を実施することで、家庭における親と子の関わり方に対する意識への影響について調査し、今後の家庭の教育力の向上に役立てる。

調査の内容： 小学1年生とその保護者が、親子で一緒に取り組めること（「おやこで花マル！プロジェクト」）を、夏期休業期間を中心にして各家庭で実施し、その効果を検証するため、夏期休業前と夏期休業後に、保護者を対象としたアンケート調査を実施する。

調査実施対象： 県内小学校17校の小学1年生の保護者（1,074人）



今後に向けて

- (1) 保護者の背中を後押しするような取組の実施
- (2) コミュニケーションが十分にとれる、日常生活の一場面に焦点を当てた「お手伝いの要素」が含まれた取組の実施
(例) 「いっしょにごはん!」「いっしょにおおそうじ!」
- (3) 低学年の子どもが保護者との約束を守ることが含まれた取組の実施

調査実施時期

事前アンケート：平成24年7月（回収率76.4%）

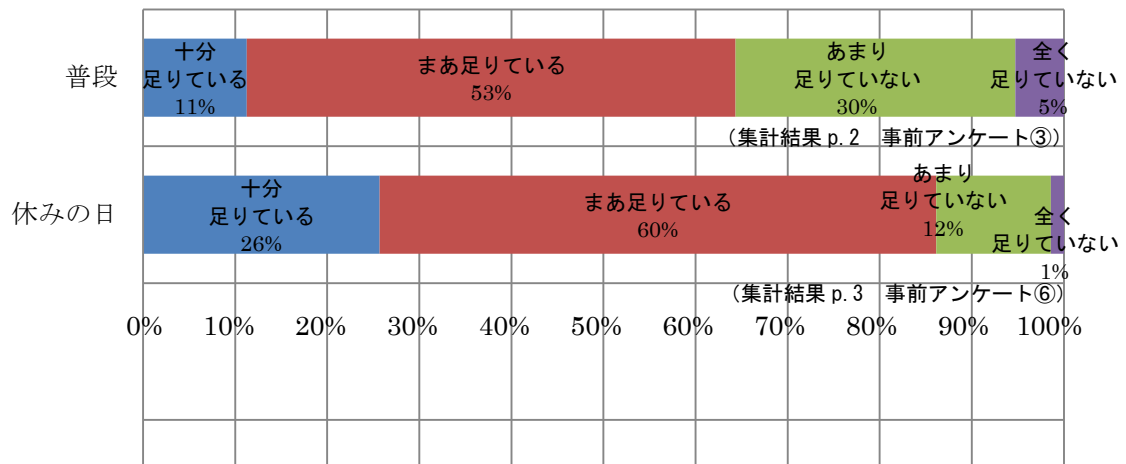
事後アンケート：平成24年9月（回収率84.8%）

結果の分析

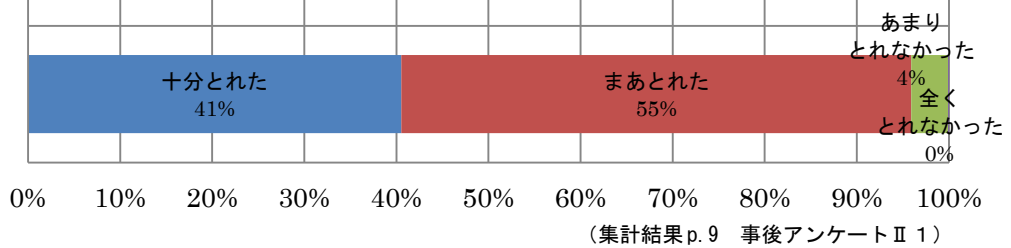
1 家庭における親子のコミュニケーションについて

① 家庭でのコミュニケーションの充足度

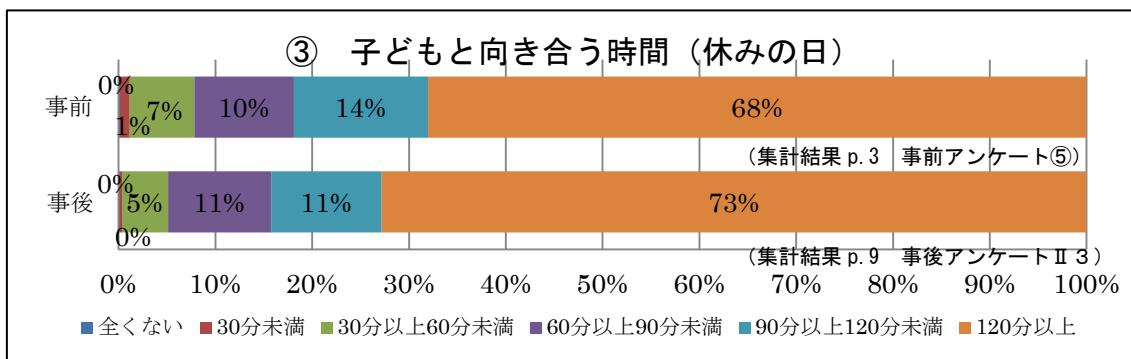
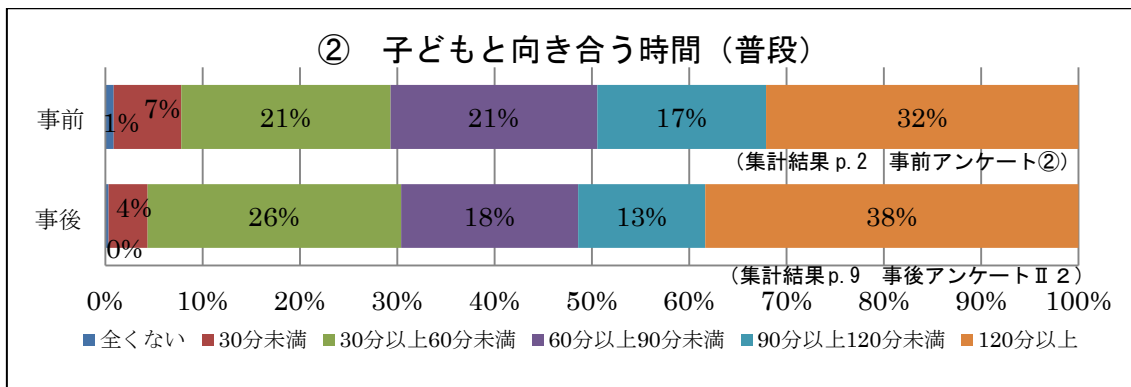
(i) 子どもとのコミュニケーションは足りているか（事前）



(ii) 実施期間中、子どもとのコミュニケーションは十分とれたか（事後）

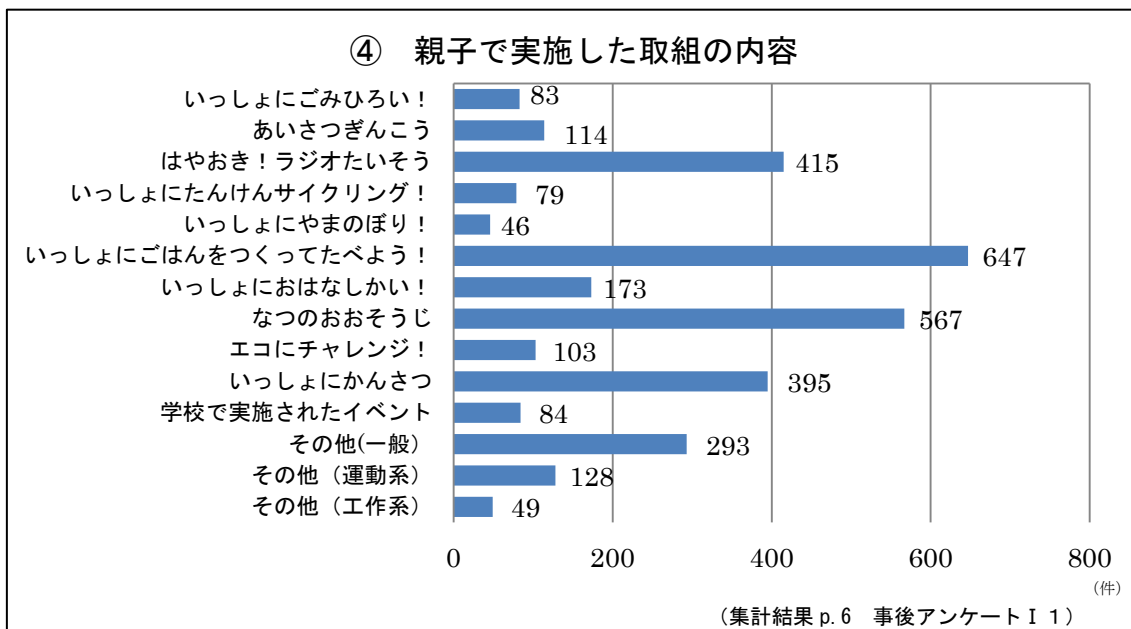


本プロジェクトを実施することにより、「子どもとのコミュニケーションは十分にとれた」と回答した家庭が増加した。



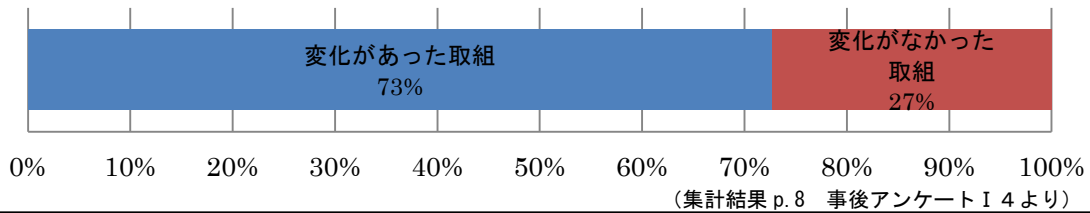
普段、子どもと向き合う時間が30分未満の家庭の割合が半減し、2時間以上の時間をとる家庭の割合が増加した。
保護者の仕事が休みの日も、同様の傾向が見られる。

2 子ども の生活習慣や規範意識の変化について

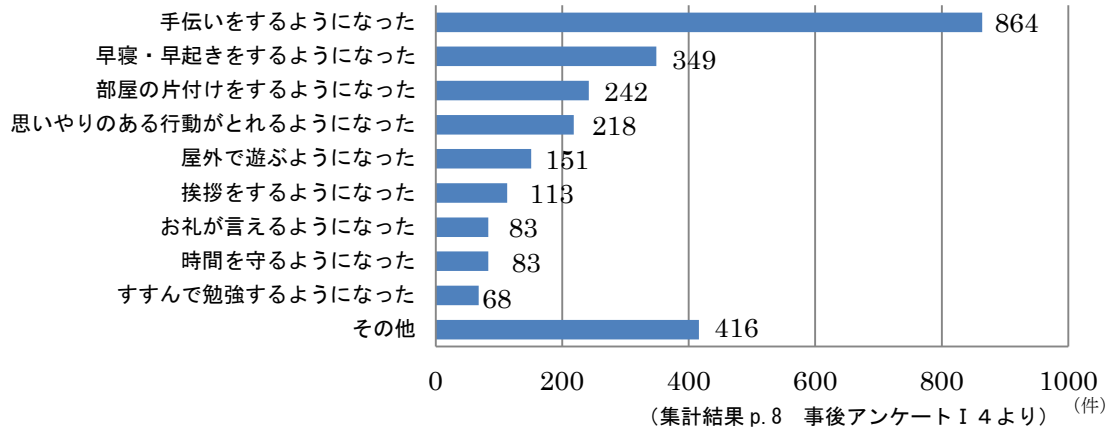


本プロジェクトにおいて、家庭で選択された取組は「いっしょにごはんをつくってたべよう」や「なつのおおそうじ」などのような、日常生活の一部を取り入れた活動が多かった。

⑤ 取組後の子どもの様子の変化の有無

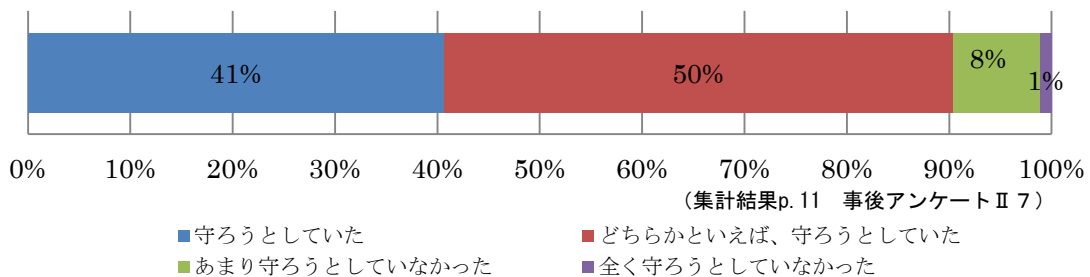


⑥ 取組後の子どもに見られた様子

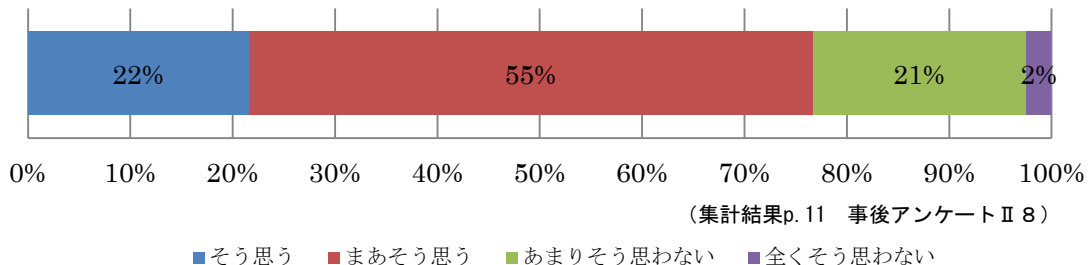


取組を実施することにより、取組後の子どもの様子には、手伝いや早寝・早起き、部屋の片付けなど生活習慣に関わる変化が見られたという回答が多かった。

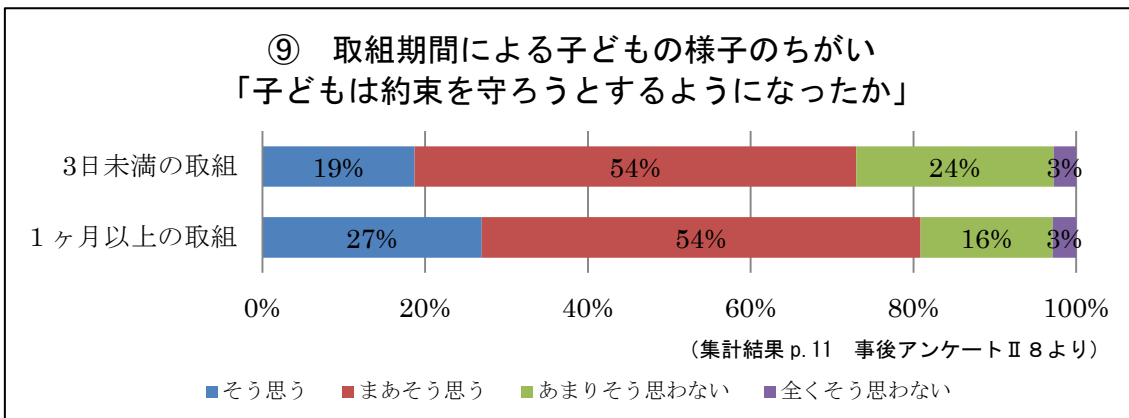
⑦ 子どもは取組期間中、約束を守ろうとしていたか



⑧ 子どもは取組終了後、約束を守ろうとするようになったか

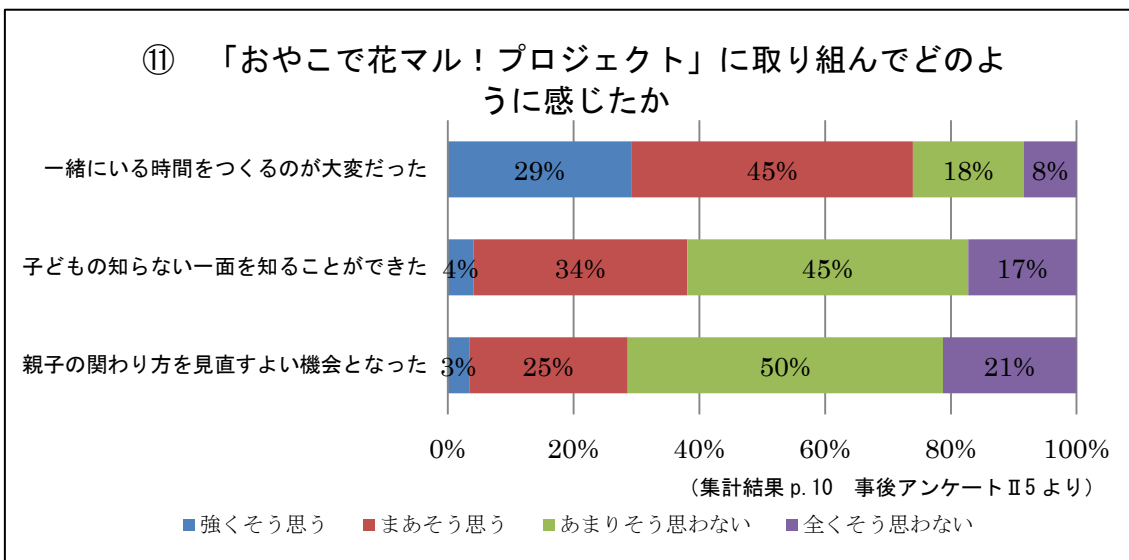
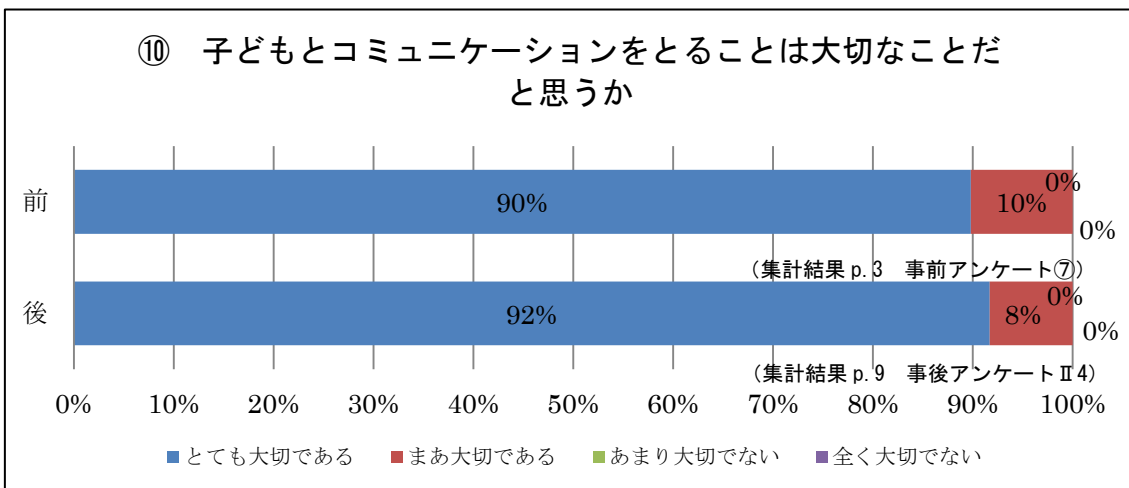


事前に家庭で決めた「取組を行う上での約束事」について、子どもは約束を守ろうとしていたと肯定的に捉えている保護者が約 90%と高い割合であった。また、この取組を行うことによって、子どもは約束を守ろうとするようになったと肯定的に捉えている保護者の割合も約 80%となっている。



取組期間が長いほど、子どもは約束を守ろうとするようになる傾向が見られる。

3 保護者の意識の変容について



「一緒にいる時間をつくるのが大変だった」と感じている保護者の割合は高いが、取組を行うことによって、「子どもの知らない一面を知ることができた」「親子の関わり方を見直す機会となった」と考えている保護者がそれぞれ約40%、30%となっており、取組の効果が現れている。